

## ちょっと気になる 健康の話

# こどもの新型コロナウイルス感染症に関するQ&A

### Q. こどもはどこで感染するんですか？

A. 家庭内感染(特に親から)が圧倒的に多く、学校や幼稚園・保育園では職員など大人から持ち込まれたケースがほとんどです。2020年7月から10月までのクラスター発生件数は1761件で、その中で学校施設は61施設と社会全体からすると少なく、こどもは感染源になりにくいとされています。

### Q. こどもが感染するとどんな症状がでますか？

A. こどもは大人に比べて感染しにくく、重症化することは稀です。発症したときの症状は、発熱や、かわいた咳、倦怠感が多く、鼻水や鼻閉は少ないようです。しかし、2歳未満の乳児は、重症化することもありますので注意が必要です。

### Q. 感染の予防はどうしたらいいですか？

A. 大人と同様で、

- マスクの着用
- 「3密」を避ける
- 手洗いをこまめに行う。

2歳未満の乳幼児では、以下の理由でマスクはやめましょう。

- 気道(空気の通り道)が狭いので、呼吸が苦しくなる
- おう吐したときに窒息のリスクが高まる
- 熱がこもり熱中症のリスクが高まる
- 顔色や口唇色、表情の変化など、体調異変の気づきが遅れるなど



### Q. 病院での感染が怖いので、乳幼児健診や予防接種は遅らせたほうが良いのでしょうか？

A. 健診の目的は年齢ごとに起こりやすい病気や問題を早期に見つけて治療に結び付けることです。こどもにとっては新型コロナウイルスと同等あるいはそれ以上に怖い感染症がたくさんあります。これらの感染症を防ぐためには早期に予防接種を受けることが重要です。病気の予防や早期発見のため、決められた時期にしっかり受診しましょう。

### Q. 学校や幼稚園・保育園には通学・通園しないほうが良いのでしょうか？

A. こどもが感染源になることは少なく、学校閉鎖による心身におよぼす影響のほうが問題です。学校の閉鎖によって、抑うつ傾向が増えたり、育児のために自宅に引き籠るようになって、ストレスが高まることから家庭内暴力や子ども虐待のリスクが増すことも危惧されています。無理に休ませる必要はありませんので、こどもの健康状態や周りの感染状況をみながら通学・通園を決めましょう。

### Q. 新型コロナウイルスワクチンのこどもへの接種について教えてください。

A. こどもへの接種経験は少なく、有効性、安全性はまだ確立されていません。今のところ接種の対象は16歳以上で、こどもへの接種は現在検討中です。

発熱などのある方は、必ず受診前に、かかりつけ医等に電話で相談し、適切な感染予防対策がとられた環境で安心して受診できるように、医療機関の指示に従ってください。

または、長崎県受診・相談センター(TEL0120-409-745) 県内保健所にまずはご相談を。

